

ダンス科

ダンスインストラクターコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	JAZZ FUNK	38	38	選択必修	実技	○	76
	HOUSE	38	38	選択必修	実技	○	76
	LA HIPHOP	38	38	必修	実技	○	76
	HIPHOP A	38	38	必修	実技	○	76
	HIPHOP B	38	38	必修	実技	○	76
	リズム&Soul	9	9	必修	実技	○	18
	Soul&Lock	10	10	必修	実習	○	20
	キッズダンス指導／振付制作実習	19	19	必修	実習		-
	JAZZ	38	38	必修	実技	○	76
	ボディメンテナンス	19	19	必修	実習	○	38
	シューティング	38	38	必修	実技	○	76
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間	1807					1458

※「JAZZ FUNK」と「HOUSE」はどちらか1科目を選択

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	305	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ FUNK		実務授業の有無	○
担当講師	田澤 美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	JAZZダンス・HIPHOPが融合したスタイル。体の柔軟性、リズム感、綺麗なポジション取りなどダンスの様々な要素が必要となるので、レッスンでは基礎を重点的に行う。達成目標は、全員が自分の魅力を理解し、アピールができること。自分を生かした振り付けを全員が出来る事。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、自分分析、振り付け
2	アイソレーション、リズム強化、振り付け
3	アイソレーション、リズム強化、振り付け
4	体づくり、ターン強化、振り付け（次回プレゼンテーションできるよう宿題にする）
5	体づくり、ターン強化、最後に振り付けのプレゼンテーション
6	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
7	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
8	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
9	ストレッチのキューイング授業（教えられるようになる）、振り付け
10	アイソレーションのキューイング授業（教えられるようになる）、振り付け
11	ターン強化、フリースタイル、チームで振り付けを考える
12	ターン強化、フリースタイル、チームで振り付けを考える
13	フリースタイル強化、一人で振り付けを考える
14	フリースタイル強化、一人で振り付けを考える
15	振り付けをプレゼンテーション
16	基礎全般、振り付け
17	基礎全般、振り付け
18	基礎全般、振り付け
19	基礎全般、振り付け

教科書等	無
成績評価	テクニック60% コミュニケーション能力40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ダンサー、コレオグラファーとして日本や海外で活動している。 世界大会三連覇した「CHIBI UNITY」の所属する「SUGA DANCE INNOVATION」にダンサー・ダンスインストラクターとして在籍する。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HOUSE		実務授業の有無	○
担当講師	津原 悠		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>常に新しい発見のある楽しい授業を行います。 ダンスの原点となる基礎から入りOld styleから今流行りのNew styleを合わせたオリジナルな踊りを教えていきます。 生徒たちが自分自身で考え個性を生かしたダンサーになることを目標にしています。 最終目標は一人一人がトップダンサーのスキルを身につけ今後一人のダンサーとして活動しているスキル、人間性を持つことを目標にしています。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	今後のスケジュール、授業内容、最終目標の説明 全てのジャンルに共通する基礎のトレーニング、身体作り 身体の使い方を学べる振り付け 基礎、身体作り
2	ボディコントロール 実際に様々な振り付けて使える応用レッスン 基礎、身体作り
3	ボディコントロール 無意識でリズムをキープできるようになる練習 基礎、身体作り
4	ボディコントロール 無意識でリズムをキープできるようになる練習 基礎、身体作り
5	ボディコントロール 少し苦戦するレベルの振り付け
6	自分自身のダンスと向き合うレッスン 映像を確認しながら自分の踊りを修正していく
7	自分自身のダンスと向き合うレッスン 映像を確認しながら自分の踊りを修正していく
8	自分自身のダンスと向き合うレッスン 映像を確認しながら自分の踊りを修正していく アドバイスをしていき理想の動きを明確にしていく
9	それぞれの改善点を修正していくレッスン 足りない筋肉のトレーニングや身体の使い方、踊り方を指導
10	それぞれの改善点を修正していくレッスン 足りない筋肉のトレーニングや身体の使い方、踊り方を指導
11	実際に普段教えているレベルの振り付けを指導 様々な音の取り方、ニュアンスを教える
12	実際に普段教えているレベルの振り付けを指導 様々な音の取り方、ニュアンスを教える
13	実際に普段教えているレベルの振り付けを指導 様々な音の取り方、ニュアンスを教える
14	音のニュアンスのレッスン 音を理解し踊りの幅を広げていくレッスン
15	音のニュアンスのレッスン 音を理解し踊りの幅を広げていくレッスン
16	トップレベル、世界を見据えてのレッスン 実際に自分がレッスンをすることを想定してレッスンの組み立て方、筋肉の役割、どの動きがどう見えるのかを考えながらのレッスン
17	トップレベル、世界を見据えてのレッスン 実際に自分がレッスンをすることを想定してレッスンの組み立て方、筋肉の役割、どの動きがどう見えるのかを考えながらのレッスン
18	実際に一人で踊ってみる 様々なシチュエーションを想定する。 オーディション、舞台、ストリート、撮影、コンペティション
19	実際に一人で踊ってみる 様々なシチュエーションを想定する。 オーディション、舞台、ストリート、撮影、コンペティション

教科書等	無
成績評価	ダンススキルの成長度合い40%、授業態度40%、仲間意識20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンサー、振付師として、日本国内海外で活動。 世界大会三連覇した"CHIBI UNITY"の所属する「SUGA DANCE INNOVATION」にダンサー・ダンスインストラクターとして在籍する。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	LA HIPHOP		実務授業の有無	○
担当講師	川島 文太		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>最終的な目的は、ダンサーの価値観だけでなく、様々な価値観を取り入れ今の時代を自分で切り開ける人間力を身につけるクラスを行い、人として素敵なダンサーを目指す。テーマは愛と感謝、HIPHOPは様々な基礎から成り立つため、体づくり、体幹、基礎トレーニングをーから学び効率の良い自主練習ができるように指導。自己満足のダンスではなく、人に影響を与えられるダンサーになる。そして結果に結びつける。</p> <p>授業の予定は立てるが、生徒のその状況に合わせたクラスを作成して行う。動画の作成なども随時行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	目的、目標決定、『何の為にここにきたのか』『最終的なビジョン』などを決めさせる。が、決定は次週。 今の時代に必要な力を判断し、自分で考え、動ける人間性の育成。価値観の幅を広げる。
2	『振り付けクラス』 基本的な動きを踏まえた楽しくも、難しいコレオグラフィを指導、踊るためには何が必要かを明確にさせ、
3	先週同様、目的、目標決定、『何の為にここにきたのか』『最終的なビジョン』などを決めさせる。 最終的な決定と発表。ダンサーはダンスだけではいけないことを認識させる。目標は変わっても良いが、目的は達成させる。
4	『基礎トレーニングの指導』基本的に1時間目は基礎力の指導少しづつ内容を増やし、濃くし、踊れる身体を作る ・柔軟性
5	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹
6	『振り付けクラス』 難しいコレオグラフィから踊る力を身につける、最後には必ず話をして現状把握を行う。 ・ライン、形・大きさ・感情
7	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹・アイソレーション
8	振り付けクラス』 ・ライン、形・大きさ・強さ、ストップ
9	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹・アイソレーション・リズム
10	『振り付けクラス』 ・ライン、形・大きさ・強さ、ストップ、・リズム・ステップ
11	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹・アイソレーション・リズム・スタイルトレーニング
12	振り付けクラス』 ・ライン、形・大きさ・強さ、ストップ、・リズム・ステップ・グループ・流れ
13	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹・アイソレーション・リズム・スタイルトレーニング・ポップ、ヒット
14	『振り付けクラス』 ・ライン、形・大きさ・強さ、ストップ、・リズム・ステップ・グループ・流れ・アクセント・奥行き、立体感
15	『基礎トレーニングの指導』 ・柔軟性・筋力・体幹・アイソレーション・リズム・スタイルトレーニング・ポップ、ヒット、瞬発性
16	『振り付けクラス』 ・ライン、形・大きさ・強さ、ストップ、・リズム・ステップ・グループ・流れ・アクセント・奥行き、立体感
17	『前期の振り返り』 目的に近づけたか、自分に負けなかったかを確認し、人間性を磨く。そして仲間意識、常識、目的を達成するために何をすべきかなど、次年度に向けての動き方を全体で固める。
18	『フリースタイル』 ある程度の基本を習得し、ダンサーの一番大切な自己表現を学ぶ。音楽、身体、頭、感情を繋ぎその時の自分を表現する授業
19	『フリースタイル』 ある程度の基本を習得し、ダンサーの一番大切な自己表現を学ぶ。音楽、身体、頭、感情を繋ぎその時の自分を表現する授業

教科書等	無
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 授業態度50% コミュニケーション30% 私生活20%
実務経験教員の経歴	<p>ダンサーとしての出演作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NGT48 中井りかバックアップ ・JDAC指導者技術コンクールゲスト出演 ・国民文化祭天皇陛下御前演舞、出演、演出 ・Chibi Unity指導者 ・VIBE DANCE COMPETITION2019 ・MIDJ CM出演 ・新潟MAZDA CM 演出 ・新潟競馬場CM 出演 ・東方神起オープニングアクト演出

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HIPHOP A		実務授業の有無	○
担当講師	角田 真優		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	最終的な目標としては、このShow!で過ごした学生時代が将来必ず自分の糧になるよう、人間性・仲間意識構築・自分の将来を自分で切り開く行動力を身につけるための授業を行います。授業はじめに個々の目標設定、全体の1年を通してのテーマ設定をした上で必要なダンススキルを磨くためにポジション・基礎力・リズム基礎力・グルーブをあげるための振り付け・トレーニングを1から鍛えます。必ずメモをする習慣をつけさせる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『1年の最終的目標設定』個々に最終的目標を決める。その上で全体のテーマ設定。話し合い。
2	『振り付けクラス』個々のスキルや人間性を知るためや、レッスンの雰囲気作りを1から学ぶ時間として初めに振り付けのクラスを行います。
3	『基礎力アップ』基本のストレッチ、トレーニングを週間づけるためHIPHOPクラスに向けたルーティーンを行う。
4	『基礎応用』基礎を取り入れた振り付けで体の使い方をきちんと学ぶ。
5	ルーティーン。週間づけるため1時間みっちりストレッチ・筋トレを行う。
6	振り付けクラス。基礎（アイソレーション・ちょっとした技）を取り入れ少しずつ難易度をあげて行きます。
7	前回と同じ振り付けクラス。基礎（アイソレーション・ちょっとした技）を取り入れ少しずつ難易度をあげて行きます。
8	フリースタイルのみの授業。音を聞く・感じる・表現の仕方・個性を持てるように。
9	1年の半分の授業を終えるところで、最初に設定したビジョンをきちんと達成に向けて行動できているか、後半のクラスをもっとよくして行くために何が出来るかを話し合う。残り時間テストに向けて基礎練習。（練習用の振り付けやルーティーン）
10	ルーティーン。シューティングや舞台などに向けて作品づくりを始める。
11	シューティングや舞台などに向けて作品練習。
12	ルーティーン。シューティングや舞台などに向けて作品練習。
13	シューティングや舞台などに向けて作品練習。
14	ルーティーン。シューティングや舞台などに向けて作品練習。
15	シューティングや舞台などに向けて作品練習。
16	シューティング。
17	シューティング。
18	フリースタイルのみの授業。音を聞く・感じる・表現の仕方・個性を持てるように。
19	総まとめ。自分の目標・全体のテーマをきちんと達成できたか。

教科書等	無
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 授業態度/意欲30% コミュニケーション能力20% 人間性20% 基礎力/ダンススキル30%
実務経験教員の経歴	・Dance Presentation Unityスタッフ ・Suga Dance Innovationインストラクター ・Chibi Unityインストラクター 経歴 アメリカ留学 新潟競馬場CM出演 ミッドガーデンCM出演 Hity&Bosh記念公演出演 新潟総踊りゲスト出演 VIBE EXHIVITION 2019ゲスト出演

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HIPHOP B		実務授業の有無	○
担当講師	山口 竜司		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	自分が受け持っているダンス授業では、ダンスで言われるオールドクラスの中のアニメーション、そして新しいスタイルのコンテンポラリーヒップホップ、韓国やロスで学んだものを融合させたヒップホップを教えています。このクラスではダンスはもちろん、その他の人間性や人としてどうあるべきかなど、生徒がこれからダンサーとして生きていくための軸作りを行なっております。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介・自己分析・振付
2	基礎トレーニング「アイソレーション、リズムトレーニング」
3	基礎トレーニング「アイソレーション、リズムトレーニング」
4	体作り、体幹、筋トレ、イメージトレーニング
5	体作り、体幹、筋トレ、イメージトレーニング
6	振付/ダンス指導
7	振付/ダンス指導
8	振付/ダンス指導
9	振付/ダンス指導
10	ダンス基礎トレーニング。前回行った振付を基礎から繋がるように一つ一つ理解していく。
11	ダンス基礎トレーニング。前回行った振付を基礎から繋がるように一つ一つ理解していく。
12	フリースタイル強化、曲のイメージを考える。音を体で表現するトレーニング。
13	フリースタイル強化、曲のイメージを考える。音を体で表現するトレーニング。
14	フリースタイル強化、曲のイメージを考える。音を体で表現するトレーニング。
15	それぞれが短い振付を作り教える勉強をする。それについて詳しくアドバイス。
16	それぞれが短い振付を作り教える勉強をする。それについて詳しくアドバイス。
17	それぞれが短い振付を作り教える勉強をする。それについて詳しくアドバイス。
18	それぞれが短い振付を作り教える勉強をする。それについて詳しくアドバイス。
19	総まとめの振付。基礎トレーニング、イメージ、フリースタイル強化。

教科書等	無
成績評価	テクニク60% コミュニケーション能力40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ダンサー、コレオグラファーとして日本、海外で活動している。主に韓国での活動が多い。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	リズム&Soul		実務授業の有無	○
担当講師	山本雄太		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	9 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	すべてのダンスの土台となる「アイソレーション」「コア」「リズム」を基礎から徹底的に学び、様々な種類の身体の使い方を授業を通して身に付け、ダンス力を底上げしていく。また「Soul」ダンスを基礎中心に学ぶことによって、リズムやグルーブを身に付ける。 さらにインストラクターとして指導できるように基礎の教え方も指導していく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・動機づけ「なぜ基礎が重要なのか」/アイソレーション・コアを学ぶ。 ①ストレッチ ②アイソレーション ③筋トレ(コアトレーニング)
2	前回の復習+リズム取り(ダウンのリズム)を学ぶ。 ①ストレッチ ②アイソレーション ③筋トレ(コアトレーニング) ④リズム取り(ダウンのリズム)
3	前回の復習+リズム取り(アップのリズム)を学ぶ。 ①ストレッチ ②アイソレーション ③リズム取り(アップのリズム)
4	前回の復習+コアを鍛える ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③リズム取り(ダウン・アップ) ④コアトレーニング
5	前回の復習+リズム取り応用編Ⅰ ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③コアトレーニング ④リズム取り(ダウン・アップ) ⑤リズム ム応用編
6	前回の復習+リズム取り応用編Ⅱ ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③コアトレーニング ④リズム取り(ダウン・アップ) ⑤リズム ム応用編
7	前回の復習+リズム取り応用編Ⅲ ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③コアトレーニング ④リズム取り(ダウン・アップ) ⑤リズム ム応用編
8	前回の復習+リズム取り応用編小テスト ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③コアトレーニング ④リズム取り(ダウン・アップ) ⑤リズム ム応用編小テスト
9	コア応用編+リズム取り応用編Ⅰ ①アイソレーション ②筋トレ(コア) ③コアトレーニング ④リズム取り基礎～応用編

教科書等	なし
成績評価	授業内小テスト50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ダンスインストラクター歴20年 ダンスコンテスト受賞多数 HIP HOP INTERNATIONAL世界大会 審査員資格 取得 HIP HOP INTERNATIONAL 2019日本大会審査員

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Soul&Lock		実務授業の有無	○
担当講師	山本雄太		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	10 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	すべてのダンスの土台となる「Soulダンス」を基礎から徹底的に学び、様々な種類の身体の使い方を授業を通して身に付け、ダンス力を底上げしていく。またLockダンスの基礎を学ぶことによって、ダンスの幅を広げていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・動機づけ「なぜ基礎が重要なのか」/アイソレーション・コアを学ぶ。 ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き ③ルーティン
2	前回の復習+新たな動き(初級)を学ぶ。(トゥエル・ロック) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(初級) ③ルーティン
3	前回の復習+新たな動き(初級)を学ぶ。(クロスハンド・グランドファーザー) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(初級) ③ルーティン
4	前回の復習+新たな動き(中級)を学ぶ。(ストップアンドゴー・ドロップ) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(中級) ③ルーティン
5	前回の復習+新たな動き(中級)を学ぶ。(ティルト・スパンク・ゴーゴー) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(中級) ③ルーティン
6	前回の復習+新たな動き(中級)を学ぶ。(ナスティ・スキーター) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(中級) ③ルーティン
7	前回の復習+新たな動き(中級)を学ぶ。(オールドマン・ブギーウォーク) ①筋トレ(コアトレーニング) ②基本的な動き(中級) ③ルーティン
8	前回の復習+振り入れ・構成入れ ①筋トレ(コアトレーニング) ②ポイントとなる動きの確認 ③ルーティン
9	前回の復習+振り入れ・構成入れ ①筋トレ(コアトレーニング) ②ポイントとなる動きの確認 ③ルーティン
10	前回の復習+振り入れ・構成入れ ①筋トレ(コアトレーニング) ②ポイントとなる動きの確認 ③ルーティン

教科書等	なし
成績評価	授業内小テスト50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンスインストラクター歴20年 ダンスコンテスト受賞多数 HIP HOP INTERNATIONAL世界大会 審査員資格 取得 HIP HOP INTERNATIONAL 2019日本大会審査員

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キッズダンス指導／振付制作実習		実務授業の有無	×
担当講師	塩田 美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	インストラクターコース

授業概要	<p>日和小学校クラブ活動の一環としてダンスレッスンを行う。 小学校4～6年生を対象に、文化祭で披露するダンスの振付・構成・レッスンを行う。 この授業で、ダンスインストラクターを経験する。 ※小学校へのレッスンは小学校の年間スケジュールにより変動する。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業内容の説明と動機づけ。 初回レッスンの内容を相談する。(ストレッチの流れ)
2	1人3項目づつ、ストレッチの説明を行う。 フィードバックを加え、実際のレッスンメニューを組み立てる。
3	前回の続き
4	1回目小学校レッスン (目標/曲決め)
5	チーム分けをおこない、2曲の音源編集と振付を行う。
6	2曲の振付を行う。
7	2回目小学校レッスン(ストレッチ/振付指導) ※担当グループのみ
8	レッスン内容の修正と振付創作。
9	レッスン内容の修正と振付創作。
10	本番までにやってほしいことの確認。 レッスンの内容を決め。
11	4回目小学校レッスン フィードバック
12	5回目小学校レッスン フィードバック
13	6回目小学校レッスン (動画対応→imovieを使用しての動画編集)
14	7回目小学校レッスン フィードバック
15	8回目小学校レッスン フィードバック
16	9回目小学校レッスン フィードバック
17	発表会
18	小学生と本番の感想発表/フィードバック
19	ストレッチ 1時間でできる簡単な振り付けを指導。

教科書等	なし
成績評価	<p>授業態度および学習意欲80%、文化祭本番の完成度20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	なし

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ		実務授業の有無	○
担当講師	田澤 美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	主に舞台で踊るためのシアタージャズ、バレエ基礎に基づいたリリカルジャズ、コンテンポラリーを行う。体づくりや柔軟を重点的に行い、全員がダンスを踊るための体を理解することを目標とする。自分の感情をそのまま体で表現できるようにするためにアクティングも行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、自分分析、振り付け
2	ストレッチ、筋トレ強化、ターン、バレエルーティーン
3	ストレッチ、筋トレ強化、ターン、バレエルーティーン
4	シアター基礎、振り付け
5	シアター基礎、振り付け
6	ターン、ジャンプ強化、振り付け
7	ターン、ジャンプ強化、振り付け
8	バレエ基礎、ターン、ジャンプ強化、振り付け
9	バレエ基礎、床技、振り付け
10	バレエ基礎、床技、振り付け
11	バレエ基礎、フリースタイル、リフト
12	バレエ基礎、フリースタイル、リフト
13	振り付けを考える
14	振り付けを考える（プレゼンテーション）
15	振り付けをプレゼンテーション
16	基礎全般、振り付け
17	基礎全般、振り付け
18	基礎全般、振り付け
19	基礎全般、振り付け

教科書等	無
成績評価	テクニック60% コミュニケーション能力40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンサー、コレオグラファーとして日本や海外で活動している。 世界大会三連覇した「CHIBI UNITY」の所属する「SUGA DANCE INNOVATION」にダンサー・ダンスインストラクターとして在籍する。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ボディメンテナンス		実務授業の有無	○
担当講師	川島 文太		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース
授業概要	ダンサーは身体と心が健康でなければ人に影響を与えられません。健康であるための知識と実力を学ぶ授業をテーマにし、一番は生徒とのコミュニケーションを大切にすることを旨とする。基本体づくりは知識と経験が必要不可欠の為、座学ではない限り3回を目安に指導を行い、その後は生徒の体調を判断して授業の選択を行う。生徒一人一人の生活習慣や家庭環境も把握し適切なアドバイスを行う。			

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『ストレッチ』 柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がりがやすく上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
2	『ストレッチ』 柔軟性を重視したメニューを作成。身体が硬い事は怪我にも繋がりがやすく上達の妨げとなる為一番最初に指導する。その他の授業でも行うがこちらの授業では一人一人の使い方も指導し、確実に柔らかくするように指導を行う
3	『トレーニング』 主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
4	『トレーニング』 主に身体の筋力量を増やすことを目的とした授業メニューの作成。ダンサーに特に必要な筋力の箇所を教え、やり方を具体的に指導して行く。やり方一つで効力が左右する為、効果的かつ理解の早いメニューを作成
5	『体幹トレーニング』 ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。 <small>ダンサーにとって重要利用できる自まつトレーニングも指導</small>
6	『体幹トレーニング』 ダンスで一番大切だと言われている体幹の授業。物理的に左右する力の利用方法や、軸の拡大を目的としたメニューの作成。 <small>ダンスで一番重要利用できる自まつトレーニングも指導</small>
7	筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。 主に体幹を使うようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
8	筋力が上がった頃を見計らってスタートする増えた筋力をダンスに活かすトレーニング筋トレとダンスの中間。 主に体幹を使うようにし増えた筋力の使い方、ダンスへの繋げ方を指導する。
9	『バレエトレーニング』 全てのダンスの基礎を利用し、軸、バランス、筋力、体幹の使い方、柔軟性の使い方を指導する。ダンスの基礎力トータルアップを目的として知識、考える力、発見する力も身につける。
10	『マッサージ』 使ったらその体を癒す、身体のケアの仕方を学ぶ。知識として理解し、その後は仲間同士でケアをできるように実践をつむ。 怪我の防止とダンスカアップの効率化、体調面のバランスをこの授業でとり、リラクセスをする
11	『怪我メンテナンス』 ダンサーに怪我は隣り合わせ。 怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
12	『怪我メンテナンス』 ダンサーに怪我は隣り合わせ。 怪我をした際の応急処置や、怪我の防止方法を指導する、
13	『食』 ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、 ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
14	『食』 ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、 ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
15	『食』 ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、 ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
16	『食』 ダンサーの身体を作る食に関する授業。肉体改造に効率的な食生活、食材や、無理のないダイエット方法、 ダンサーの身体へと近づける食生活を指導する。
17	『骨理論』 身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。 骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
18	『骨理論』 身体を支えているのは骨であり、筋肉はそれを補うもの。 骨の使い方をより深く理解して、身体に負担のないダンスの仕方、身体の使い方を理解する。
19	『マッサージ』『怪我メンテナンス』実技 この実技を通して評価基準とする。

教科書等	無
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 授業態度50% コミュニケーション30% 私生活20%
実務経験教員の経歴	ダンサーとしての出演作品 ・NGT48 中井かほろバックアップ ・JDAC指導者技術コンクールゲスト出演 ・国民文化祭天皇家下御前演舞、出演、演出 ・Chibi Unity指導者 ・VIBE DANCE COMPETITION2019 ・MBJ CM出演 ・新潟MAZDA CM 演出 ・新潟競馬場CM 出演 ・東方神起オープニングアクト演出

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	シューティング		実務授業の有無	○
担当講師	山口 竜司		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	自分のHIPHOPの授業を選択している生徒が多いので、その授業でやったものでシューティングを行います。シューティングするだけでは何も学びはないと思います。なのでしっかりとシューティングまでに仕上げる事、自分の見せ方、メイク等様々なことが学べるように授業をしています。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	まずは生徒自身で何を撮影したいのか考える。
2	なぜそれを撮影をしたいのか、作品に対してテーマを決める。
3	衣装、メイク、撮影場所などを決める
4	振付練習開始、一つ一つ揃えていく。
5	振付練習開始、一つ一つ揃えていく。
6	振付練習開始、一つ一つ揃えていく。
7	振付練習開始、一つ一つ揃えていく。
8	カメラを入れて、仮撮影。自分の映り方を研究。
9	カメラを入れて、仮撮影。自分の映り方を研究。
10	カメラを入れて、仮撮影。自分の映り方を研究。
11	YOUTUBEやインスタグラムなど過去のシューティング動画、有名ダンサーを見て、自分の角度、表情を研究する。
12	YOUTUBEやインスタグラムなど過去のシューティング動画、有名ダンサーを見て、自分の角度、表情を研究する。
13	YOUTUBEやインスタグラムなど過去のシューティング動画、有名ダンサーを見て、自分の角度、表情を研究する。
14	衣装、メイク等をしっかりと、動きやすさなどの確認。
15	最終振付合わせ。
16	最終振付合わせ。
17	最終振付合わせ。
18	撮影日
19	撮影日「予備」

教科書等	無
成績評価	シューティングに対する意識60% テクニック40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンサー、コレオグラファーとして日本、海外で活動している。主に韓国での活動が多い。